



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

* 友達と一緒に活動することの楽しさと素晴らしさを感じられる学校づくり *

校長 宮島 和生

つい先日、自宅横の畑をツバメが飛んでいるのを見かけました。また、通勤途中の水田には水が入り始め、少しずつ季節が変わろうとしています。

4月7日（水）の入学式では、58名の1年生を迎え、全校児童370名が学校生活をスタートさせました。全国的に新型コロナウイルスの変異株により感染が拡大していますが、現在は順調に授業を進めることができます。

さて、本校では、今年度も「ともに学び、心豊かでたくましい子供の育成」を学校教育目標とし、伝統的に本校を象徴するけやきの木になぞらえた子供像を目指していきます。

《目指す子供像》

けんこう…心身共に健康で、粘り強くがんばる子供

やさしさ…仲良く助け合い、励まし合う子供

きんべん…自ら問題をとらえ筋道を立てて考える子供

そして、今年度は子供たちの実態をふまえ、以下の項目に重点を置きながら教育活動に取り組んでいきます。



登校時の様子

① 児童の自己肯定感や自己有用感を高める

自分を認め尊重することができるようになると、多くのことに前向きになれます。そこで、学習においては「分かった」、「できた」が実感できる授業づくりに努めます。また、児童委員会や学級の係活動等においては、児童自ら活動を企画、運営する機会を増やし、物事を達成する喜びを実感させることを目指します。「東部っ子」のよさを学校、家庭、地域で見つけていきたいと思えます。ご家庭でも、お子さんに役割をもたせ、がんばっている姿を家族全員で褒めてあげてください。

② 互いの人格を認め合い、協力し合うことのできる優しい心を育てる

小学校生活の6年間は、将来の人間形成のために大切な時期です。互いを知り、認め合える人間関係を築くことや目標に向けて協働的に課題に取り組むことは、これからの社会を生き抜いていく大切な力だと考えています。また、相手の気持ちを想像する機会を多く作り、優しい心子供たちの中に醸成したいと思えます。

③ 規範意識を高め、社会性を身に付けさせる

学校での集団生活は、子供が社会性を身に付ける絶好の機会です。きまりを守りマナーに気を付けることは、互いに気持ちよく社会生活を送るうえでとても重要なことです。将来、様々な生活の場で適応していくことができるような力を付けさせたいと思えます。身近な大人である教師や親が模範を示すことが大切です。また、「自宅と学校」「教室と廊下」等の場所に応じて生活の「けじめ」をつけ「がまん」ができるように育てたいと思えます。

ご家庭においてもこれらのことをご理解いただき、学校と手を取り合いながら子供たちの育ちを支援できるようにご協力をお願いします。44名の教職員が「東部っ子」の成長を保護者の皆様、地域の皆様と共に喜び合いたいと思えます。今後のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。